



ハウステンボスの上海航路船「オーシャンローズ」の佐世保入港

11月3日に試験運航する中国・上海－長崎航路の貨客船「Ocean Rose (オーシャンローズ)」(30,412ト)が10月20日、佐世保港に入港。佐世保重工業 (SSK) 佐世保造船所で外装などの改修工事を行いました。全長約190m、最大収容人数は約1,500人。ギリシャで使われていたものをHTBクルーズが購入。今回の改修で船体後部に西海国立公園九十九島が大きく描かれました。試験運航後に本格的な改修工事を行い、来年1月からの定期運航を目指します。写真は11月1日撮影。



伝統の舞を披露  
佐世保くんち 奉納踊り



愛らしい魔法使いやお化けたちがアーケードを大行進!

10月30日、ハロウィーンのイベントが三ヶ町アーケードで開催。魔法使いやお化けに仮装した約150人の子どもたちが、「トリック・オア・トリート(お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ)」と唱えながら協力店18店を巡り、袋にたくさんのお菓子を詰めてもらいました。イベントは佐世保三ヶ町商店街振興組合が企画したもので、今回で4年目になります。



11月1日、笛や太鼓のにぎやかな音、威勢のよい掛け声とともに、亀山八幡宮(八幡町)の大祭「佐世保くんち」が始まり、奉納踊りなどが披露されました。  
ことしから180席の棧敷席が設けられた松浦公園では、俵町、宮田町、城山町、八幡町、八幡町1組が5カ町合同で、白い手ぬぐいを回しながら舞う「道行踊り」などを奉納。佐世保小唄に合わせた3人の娘の華麗な舞も披露され、集まった見物客から大きな拍手が送られました。島瀬町からは約30年前に創作した勇壮な「面浮立」などを奉納。市内高校に通う留学生等を含む総勢百人を超える踊り手たちが鼓や扇子を使いながら、息の合った踊りを披露しました。  
3日には三ヶ町商店街有志による「蛇踊り」など5団体が踊りを奉納。太鼓やドラ、爆竹の音が鳴り響く中、青色の大蛇と赤色の子蛇が迫力ある舞を披露すると、集まった見物客などから「モッテコイ、モッテコイ」の声が何度も掛けられました。